

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

## 今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者/まんが/俳句
- 4面 年金相談/人「性」いろいろ/女性史散策/韓国から
- 5面 憲法のはなし/ホット
- 6面 オンライン化/もう一品/母の歴史
- 7面 沖縄県議選/談話/北京+25



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



芽が出た!

へちまの収穫の様子



# コロナ禍…こんなときこそ

# みんな

持続可能な世界へ変える

# SDGs

新型コロナウイルス感染症が長期化する今、こんなときこそ、「だれ一人のりこさない」、SDGs(持続可能な世界)へみんなで「オンラインにも挑戦」と、新婦人は各地で工夫した活動を広げています(1・2面)。

## へちま、大豆…畑小組が広がっています

岡山県本部

こんなときこそ食料自給率アップ、環境にいいことを身近でと、畑づくりが広がっています。倉敷支部などでこの班では、畑小組がスタート。新婦人しんぶんの記事がきっかけで「深刻なマイクロナプラスチックの環境汚染をなんとかしたい」「へちまを育てて、たわしを作りたい」「猛暑をしのごグリーンカーテンにもなる。やってみた

い」と次つぎ声があがりました。畑小組のリーダーは貸農園で野菜作りをしている原田恵子さん。家庭菜園を築き、6〜7人の会員と話し合い、自家採取の種や作り方、料理法も情報交換。5月4日、へちまの種をまき、2週間後には心待ちにしていた発芽が! 本葉が出てきたら畑や庭先、プランターへの植え替え時期で、

「苗のほしい人はお裾分けしますよ」とニュースでも発信、ラインで状況を交換しています。支部の環境問題や種苗法の学習会などにも積極的に参加し、合言葉は「暮らしのなかから環境を守ろう」です。岡山支部若い世代チームは、「ときどき☆農業女子会」と銘打って、大豆畑で黒豆づくりに挑戦。第一弾は枝豆用に、



3密にならずに黒豆の植え付け

3月に親子で種まき、5月5日は畑で定植作業をおこないました。「3密」を避け、植え付けや水やり作業は1時間足らずで終了です。6月には第二弾として、味噌づくり用などの黒豆と大豆の種まきをします。昨年は農民連女性部とコラボ

## 宣伝で大活躍!

東京・東村山支部

SDGsは新婦人の活動そのもの!と17の目標を入れた手づくりの大タペストリーを作成。コロナ禍のもとでのスタンディング宣伝で大活躍です。26、28日には駅前連続宣伝、言いたいこといっぱい!の今、「検察庁法改定案きっぱり廃案に」「コロナ検査・生活補償を国の責任で」「消費税は5%に」など思い思いの手製プラカードも持ち寄り、アピールします。



## 検察庁法改定案、民意で撤回へ

<7面>

企画で、収穫した大豆を、きな粉に加工しても、い!と大好評で、今年も楽しみです。

